

令和2年度 自己評価

新入ひまわりこども園

1 本年度の重点取り組み目標・計画

一人ひとりを大切にした保育の推進
保育の質の向上
地域や専門機関との連携
子育て支援の実施
環境を整え、子どもが主体的に五感を通じて「生きる力」を育む

2 学年別目標・計画

0歳児	一人ひとりの子どもの生活リズムを重視して健康で安全に過ごせるようにする。 一人ひとりの子どもの健康状態を細かく観察し、快適に生活できるようにする。 一人ひとりの子どもの生理的欲求が満たされるようにする。
1歳児	安心できる保育者との関係のもと、一人ひとりの欲求を受け止めてもらい、生命の保持と安定を図れるようにする。
2歳児	友達との関わりや葛藤の乗り越えを一貫した対応で温かく見守り、援助する。 欲求、好みを出せる関係を作る。 食育において、意欲的にしっかり噛んで食べることの大切さを伝える。
3歳児	クラスの活動や遊びを通して友達と一緒に取り組む楽しさを知る。
4歳児	園生活を楽しみ、基本的な生活習慣を身に付ける
5歳児	生活の中で、自己を十分に発揮し、自信を持って行動する。

3 評価項目の達成及び取組状況

主な評価項目	取組状況
1 運営規定 運営規定を作成しており、職員や利用者に規程を周知していますか	園内に据え置くほか、入園時や規定の改正時には保護者に配布し同意を取っている。
2 施設設備 基準に定められている設備を有しているか	定められた基準を満たす設備を整えている。 また、設備及び遊具については、職員が定期的に自己点検を行うほか、業者にも見てもらう機会を設け、安全管理に努めている。 令和2年度も老朽化した遊具を買い替えたり、床、クロス等園舎の補修をしたり、設備整備に心がけた。
3 園児 認可定員を遵守しているか	認可定員の範囲内でできるだけ運用しているが、待機児童対策もあり、弾力運用の範囲内で、市の要請により定員を超えて園児を受けている（ここ数年は5名程度）。

<p>4 教育・保育目標の理解と周知</p> <p>教育・保育理念 教育・保育方針 教育目標について、教職員間の共通理解ができているか</p>	<p>教育・保育理念及び教育・保育方針を事務室や各教室に掲げるとともに、全体の計画や指導計画を作成するうえで職員と再確認し、共有している。</p> <p>また、教育・保育の実践結果を職員全体で見直しそれをその後の教育・保育に活かすように努めている。</p>
<p>5 教育・保育内容</p> <p>教育・保育要領の理解 教育・保育指針を踏まえた指導計画の作成 保育の記録と次の指導計画への反映ができているか 園児の実際の行動に合わせた環境への配慮</p>	<p>教育・保育要領を常に見直し、教育・保育に取り組むよう努めるとともに、外部で実施される研修会等によって、新たな知見を獲得し、それを広く職員で共有する努力をしている。ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン研修のみの参加となり十分目標を達成できたとは言い難かった。</p> <p>また、指導計画は、教育・保育理念及び教育・保育方針を踏まえ、また、年々変化する環境を考慮し、それに伴う園児の実際の行動を考え作成しているが、これも新型コロナウイルスの感染状況により大幅に変更し対応した。</p>
<p>6 特別支援教育</p> <p>当該園児についての情報共有 家庭・医療・福祉等の関係機関との連携 特別支援についての理解</p>	<p>コロナ禍の中ではあったが、公認心理師を積極的に利用し、特別支援が必要な子どもの理解に努めた。</p> <p>また、直方市の保健師をはじめとする関係機関との連携もできる限り利用し、そこで得た知見や子どもの情報を職員間で共有した。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染拡大の観点から支援委員会は少人数で開催する等工夫した。</p>
<p>7 教育・保育の記録等</p> <p>園児の育ちに関する帳票の整備 園日誌等を適正に整備しているか</p>	<p>全体の計画もとに各クラスの指導計画を整備し、個々の指導計画、週案、日案に落とし込んでいる。</p> <p>また、食育の観点からも園児の発達を見守っている。</p>
<p>8 保幼小連携・地域交流</p> <p>地域の小学校との教育交流 地域住民の方への園行事等の周知 参加交流を行っているか</p>	<p>コロナ禍のため、小学校との交流ができないだけでなく、園行事そのものがかなり制約された中での実施となった。</p> <p>ただ、このような状況の中での交流の仕方や発信の仕方を知る機会とはなった（ズームやユウチューブの利用など）。</p>
<p>9 虐待防止等</p> <p>虐待等の状況が見受けられないか 行政との連携を行っているか</p>	<p>コロナ禍の影響もあるかもしれないが、休み明けの怪我が目立ったため、怪我に至る状況の把握や記録に努めた。</p> <p>また、児童相談所や直方市の要保護対策地域協議会との連携を密にし、情報の共有やケースの支援に努めた。</p>

<p>10健康・衛生管理等</p> <p>健康診断および歯科検診の実施はされているか マニュアルの整備はされているか 睡眠時の状態等を観察記録して適切な処理がされているか 付随する研修の実施</p>	<p>健康診断および歯科検診は国の通達もあり、新型コロナウイルス感染の拡大期を避け、年1回とした。</p> <p>また、感染症対応マニュアルや事故対応マニュアルを整備し、職員に周知している。</p> <p>睡眠時のチェックは乳児について、5分おきに行い、観察記録をつけている。</p> <p>なお、例年これらの研修を積極的に受けていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大予防対策に追われあまり受講できなかった（オンライン研修に限られた）。</p>
<p>11保護者との連携</p> <p>保護者と連携して園児の情報を生かした保育を行っているか 問題発生時の保護者連絡、園情報の発信は適切か 保護者の園行事の積極的な参加 保護者の園の教育、保育理解はできているか 保護者からの要望・意見を適切に対応できているか 守秘義務を遵守しているか</p>	<p>保護者に対しては、お便りや連絡帳を通じて、園の情報を発信している。</p> <p>また、日ごろから保護者とコミュニケーションをとることに心がけ、園児の情報を共有するとともに、問題発生時その解決がスムーズにいくようにしている。</p> <p>そのため、保護者も園行事等によく協力いただいているが、令和2年度はコロナ禍のため、行事等を自粛・縮小せざるを得ず、例年のような参加を受け入れることができなかった。</p> <p>なお、これを機会に今後は保護者との連絡をオンライン化したり、行事をオンラインで発信する等新たな情報発信の方法を検討している。</p> <p>守秘義務については、全職員に誓約書を取るとともに、職員会議等で何度も伝達し、その徹底に努めている。</p>
<p>12教育・保育時間</p> <p>教育課程に準じた教育・保育時間設定しているか</p>	<p>保育を必要としている園児がほとんどであるので、長時間園で生活することを前提に、教育・保育時間を設定している。</p>
<p>13地域との連携</p> <p>相談支援・情報提供相談支援事業・一時預かり事業 保護者と地域の子育て支援団体等の連絡・調整事業 地域の子育て支援者に対する情報提供・助言事業</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から子育て支援サークル"くれよんクラブ"や地域との交流も自粛・縮小せざるを得なかった。</p> <p>子育て支援サークル"くれよんクラブ"については、一部実施した時の反響が大きく、地域で在宅育児している方々の要望の大きさを改めて知る機会となった。</p> <p>今後はこのような状況下でも地域支援ができるようリモート保育等の活用も検討していけたらと考える。</p>
<p>14苦情解決体制</p> <p>苦情解決体制及び手順に沿って行われているか 苦情の再発防止に対応しているか</p>	<p>苦情解決体制及び手順については、事務室に掲示するほか保護者に入園のしおりでお知らせする等している。</p> <p>この手順を利用された保護者はいないが、絵本についての意見を匿名の手紙で投書された方がいらっしゃったので、園だよりで回答した。</p>

15食事提供

管理栄養士の管理のもと食事提供されているか
アレルギー対応が個々にされているか
衛生自主点検が行われているか

管理栄養士2名による管理のもと、個々のアレルギー対応、栄養管理、さらには、個々の肥満度チェック等まで行っている。

また、園児が給食を楽しむことができるように食育にも力を入れている。

衛生自主点検は、調理に関わる職員全員が毎日行っており、調理環境の衛生面についても細心の注意を払っている。